

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公表番号】特表2003-509525(P2003-509525A)

【公表日】平成15年3月11日(2003.3.11)

【出願番号】特願2001-522335(P2001-522335)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)
 C 08 J 5/00 (2006.01)
 C 08 K 5/00 (2006.01)
 C 08 K 5/5357 (2006.01)
 C 08 L 51/00 (2006.01)
 C 08 L 67/00 (2006.01)
 C 08 L 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00
 C 08 J 5/00 C F D
 C 08 K 5/00
 C 08 K 5/5357
 C 08 L 51/00
 C 08 L 67/00
 C 08 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- A) ポリカーボネートおよび/またはポリエステルカーボネート、
- B) グラフト基材として、シリコーン、EP(D)Mおよびアクリレートゴムからなる群から選択される、少なくとも1種のゴム弹性グラフトポリマー、
- C) 所望により、ビニル(コ)ポリマーおよびポリアルキレンテレフタレートからなる群から選択される、少なくとも1種の熱可塑性ポリマー、および
- D) 式(I)のホスホネートアミン混合物全体に対して0.1~30重量部:

式(I)

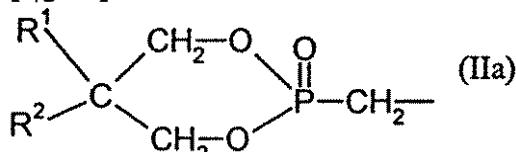
【化1】

$A_{3-y} - N - B_y$ (I)

但し、

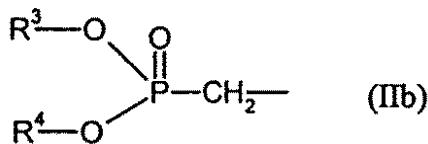
Aは、式(IIa)

【化2】



または(IIb)

【化3】



の基を表わし、式中、

R^1 および R^2 は、互いに独立して、非置換もしくは置換 $C_1 - C_{10}$ アルキル基または非置換もしくは置換 $C_6 - C_{10}$ アリール基を表わし、

R^3 および R^4 は、互いに独立して、非置換もしくは置換 $C_1 - C_{10}$ アルキル基または非置換もしくは置換 $C_6 - C_{10}$ アリール基を表わすか、または

R^3 および R^4 は、一緒になって非置換または置換 $C_3 - C_{10}$ アルキレン基を表わし、

y は、0、1または2の数値を意味し、および

B は、独立して水素、所望によりハロゲン化 $C_2 - C_8$ アルキル基、非置換または置換 $C_6 - C_{10}$ アリール基を表わす、

を含有する配合物。

【請求項2】

成分A 40~99重量部、

成分B 0.5~60重量部、

成分C 0~45重量部、

成分D 0.1~25重量部、および

フッ素化ポリオレフィン 0~5重量部

を含有する、請求項1記載の配合物。

【請求項3】 成分B)が、

B.1 少なくとも1種のビニルモノマー 5~95重量%の、

B.2 シリコーン、アクリレートおよびEP(D)Mゴムからなる群から選択される、ガラス転移温度10未満の、1種またはそれ以上のグラフト基材 95~5重量%への1種またはそれ以上のグラフトポリマーから選択される、請求項1または2記載の配合物。

【請求項4】 成分C.1が、ビニル芳香族化合物、シアノ化ビニル、 $C_1 - C_8$ アルキル(メタ)アクリレート、不飽和カルボン酸および不飽和カルボン酸の誘導体の群の少なくとも1種のモノマーのビニル(コ)ポリマーからなる、請求項1~3いずれかに記載の配合物。

【請求項5】 成分A~成分Eおよび所望により添加剤を混合し、溶融コンパウンドする、請求項1~4いずれかに記載の成形用組成物の調製方法。

【請求項6】 成形物品の調製での、請求項1~5いずれかに記載の成形用組成物の使用。

【請求項7】 請求項1~5いずれかに記載の成形用組成物から得られる、成形物品または成形品。